

奈良先端科学技術大学院大学

【N086 奈良先端科学技術大学院大学】

	奈良先端科学技術大学院大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	大学院情報科学研究科 (M:135 D:40) 大学院物質創成科学研究科 (M:90 D:30)
沿 革	平成3 (1991) 年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期 課程・後期課程設置 平成8 (1996) 年 大学院物質創成科学研究科博士前期課程・後期課程設 置
設置目的等	<p>平成3年、高度情報社会の進展に伴い、情報科学の分野に係る高度な基礎研究を推進するとともに、情報処理技術、通信処理技術、情報システムの構成技術等の研究開発等を担う研究者、技術者等の組織的な養成及び再教育を行うことを目的に、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程・後期課程が設置された。</p> <p>平成8年、新素材や新材料の開発の基礎となる新しい物質について、分子、原子のレベルでの構造と機能を解明し、情報科学、バイオサイエンスに重点を置いた新機能物質の開発・設計と創成に関する高度な教育研究を推進するとともに、このような研究に携われる優れた人材を組織的に養成することを目的に、物質創成科学研究科博士前期課程・後期課程が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>奈良先端科学技術大学院大学は、先端科学技術の基盤となる情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の3分野に係る研究の深化と融合を推進するとともに、優れた研究成果に基づく高度な教育により人材を養成し、もって科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的として教育、研究、社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 奈良先端科学技術大学院大学の理念に基づき、博士前期課程では、高度な専門性を持ち、先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を、博士後期課程では、先端科学技術分野において自立して研究が遂行でき、国際的な場で主導的に活躍できる人材を養成する機関としての役割を果たす。</p> <p>○ 学部教育にとらわれない教育システムを有し、出身大学等を離れ</p>

能動的に進路を選択した、多様なバックグラウンドを持つ意欲のある国内外の学生が在籍するなど、大学院のみを置く大学としての強み、特色及びこれまで実践してきた先駆的な大学院教育プログラムなどの実績を生かし、国際的水準を踏まえた教育改革を進め、グローバルに活躍できる先端科学技術分野の人材を育成する大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。

- 日常的な人的交流を可能とするコンパクトな大学としての強み、特色を生かした柔軟な研究体制と優れた研究環境の下、情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の研究領域及びこれらの融合領域において世界レベルの先進的な研究を推進し、更なる深化と融合を図る。特に、社会の活力を維持し豊かな持続的社会的実現に貢献する情報技術及び情報生命学などのデータサイエンスに関する研究、先端融合領域の「光ナノサイエンス」をコアとしてグリーンやライフなどの持続的社会的発展を目指す物質科学の研究を推進する。そのため、引き続き優秀な若手教員を確保し、内部昇進を厳格に行うなど、教員の流動性を図る。
- 多様かつ質の高い産学連携活動や開学当初から取り組んでいる産業界等と連携した人材育成などの実績を生かし、社会の発展や文化の創造に向けた学外との密接な連携・協力を推進する。
- 社会人学生に対する奨学支援制度や産官学の多様な研究現場で活躍する研究者・技術者を対象としたコース等を通じ、社会人の再教育を更に促進する。